

土地の購入・譲渡や新築・増築・敷地の舗装などをお考えの皆さまへ

元の土地所有者の方	譲渡する際に譲渡先の不動産会社、または新しい土地所有者の方へ除去土壌の保管状況を必ずご説明ください。
不動産事業者の方	土地を譲り受ける際に除去土壌の保管状況を元の土地所有者の方に確認し、新しい土地所有者の方への説明をお願いします。
新しい土地所有者の方	土地を譲り受ける際に不動産会社、または元の土地所有者の方へ除去土壌の保管状況の確認をお願いします。

保管していただいている除去土壌が、土地の売買・新築・増築や駐車場の舗装、敷地の造成などの支障になる場合は、工事を行う前に、早めに環境再生推進室へご相談ください。

なお、埋設箇所の確認が必要な場合は、埋設箇所を記載した保管図を交付（無償）できますので、環境再生推進室（☎535-1136）までお問い合わせください。

中間貯蔵施設への除去土壌輸送状況をお知らせします

令和3年9月末現在における現場保管の解消状況および環境省による中間貯蔵施設への輸送状況をお知らせします。

1 現場保管の解消（除去土壌の仮置場などへの搬出）

No	区分	目標時期	全体※1	搬出済	進捗率
1	公共施設等※2	令和3年度末	1,289件	1,287件	99.8%
2	生活圏森林等※3	令和3年度末	8,487件	8,508件	100.2%

住宅：現在の実搬出件数 78,683件【令和2年11月完了（同意を得ているもの）】

※1 全体：現場保管の箇所数（令和3年4月末時点での推計値）

※2 公共施設等：市・県・国の施設、学校等（学校等は令和元年度に完了）

※3 生活圏森林等：生活圏森林、樹園地、牧草地等

2 中間貯蔵施設への輸送量①（令和3年度）

【環境省実施】

区分	令和3年度計画量※4	輸送済量	進捗率
住宅・公共施設・生活圏森林等	306,854m ³ (令和2年度計画量:370,000m ³)	148,295m ³ (令和2年度実績:390,016m ³)	48.3%

※4 令和3年度の環境省の計画輸送量は320,000m³であるが、令和3年3月に前倒し13,146m³を輸送済み320,000m³-13,146m³=306,854m³

3 中間貯蔵施設への輸送量②（累積）

【環境省実施】

総輸送予定量（推計）※5 令和3年3月31日現在	輸送済量	進捗率
1,102,000m ³	945,198m ³	85.8%

※5 現場保管および仮置場における除去土壌の量

公共施設・公園などでの保管が、土のう袋などではないため推計値

令和2年3月末総輸送予定量1,074,000m³から土量が28,000m³増え、1,102,000m³に増加

上記データは毎月更新し、市ホームページで公表しています。

<https://www.city.fukushima.fukushima.jp/bosai/bosaikiki/shinsai/hoshano/josen/shinchokujokyo/>



現場保管いただいている除去土壌について

住宅や各施設などの敷地内において現場保管いただいている除去土壌の搬出につきましては、令和3年度末の完了を目指して進めているところですが、敷地内に除去土壌または心当たりのない土のう袋があるなど、気がかりな点やご不明な点がある場合は、環境再生推進室（☎535-1136）へご連絡をお願いします。

流通している農産物

市産農産物(出荷物)の放射性物質の自主検査結果(園芸品目) (令和3年4～9月分)

■問い合わせ/農業振興課 ☎ 525-7720

出荷・販売を目的とする農産物の自主検査結果をお知らせします。
検査の結果、99.94%が測定下限値(20.0ベクレル/kg)未満で、**検査した全ての農産物が基準値を下回っています。**

- 検査機関 福島市地域の恵み安全対策協議会
- 検査場所 JAふくしま未来モニタリングセンター
- 検査期間 令和3年4月1日～9月30日
- 検査件数 171品目 5,396件
- 検査機器 NaIシンチレーション検出器31台
- 検査方法 全品目全戸検査
- ゲルマニウム半導体検出器1台

〈作物分類別測定状況〉 ※端数処理の関係で合計値が一致しないことがあります。 (単位: 件)

区分	件数/割合	セシウム134・セシウム137合計値(ベクレル/kg)					計
		20.0未満	20.0～30.0	30.1～50.0	50.1～100.0	100.1～	
果物	件数	962	-	-	-	-	962
	割合	100.0%	-	-	-	-	
野菜	件数	4,224	-	3	-	-	4,227
	割合	99.93%	-	0.07%	-	-	
きのこ・山菜・その他	件数	207	-	-	-	-	207
	割合	100.0%	-	-	-	-	
計	件数	5,393	-	3	-	-	5,396
	割合	99.94%	-	0.06%	-	-	

〈主な品目の測定状況〉 ※上の表のうち、検査件数の多い品目を記載しています。 (単位: 件)

品目	セシウム134・セシウム137合計値(ベクレル/kg)					計
	20.0未満	20.0～30.0	30.1～50.0	50.1～100.0	100.1～	
もも	291	-	-	-	-	291
なす	214	-	-	-	-	214
さやいんげん	192	-	-	-	-	192
じゃがいも	184	-	-	-	-	184
たまねぎ	183	-	-	-	-	183
りんご	147	-	-	-	-	147
キャベツ	142	-	-	-	-	142
かぼちゃ	136	-	-	-	-	136
きゅうり	131	-	-	-	-	131
スナックエンドウ	120	-	-	-	-	120
梨	116	-	-	-	-	116
その他	-	-	3(ごぼう1、かぼちゃ1、しゆ菜1)	-	-	3

令和2年度の個人線量計(ガラスバッジ)による測定結果

■問い合わせ/保健所 保健総務課 ☎525-7681

測定を希望された2,386人のうち、3か月間計測した2,286人の追加被ばく線量^{※1}の平均値は、0.017ミリシーベルトでした。表1

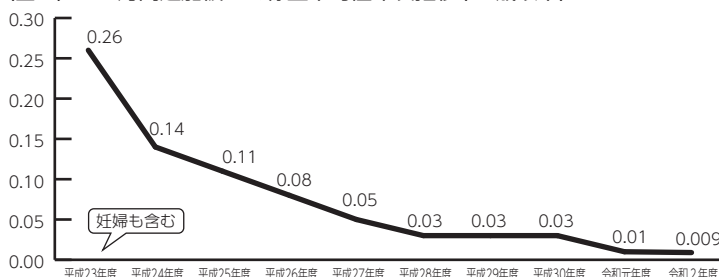
年齢別に見てみると、16歳以上の平均値は0.022ミリシーベルト、15歳以下の平均値は、0.009ミリシーベルトとなっています。H23年度から実施している15歳以下の平均値推移は、図1のとおり、年々減少してきています。

医師や市の放射能対策アドバイザーなどで構成する福島市健康管理検討委員会は、「今回の3か月間で測定された線量より推定した年間積算線量からは、将来、放射線によるがんの増加などの可能性は少ない」と判断しています。

(表1) 3か月間測定者の平均値

	人数(人)	追加被ばく線量平均値(ミリシーベルト)
全年齢	2,286	0.017
0歳～15歳	968	0.009
16歳以上	1,318	0.022

(図1) 3か月間追加被ばく線量平均値年次推移(15歳以下)



※1「追加被ばく線量」とは

測定値から自然放射線量を差し引いたあとの数値です。東京電力(株)福島第一原子力発電所事故以降に追加された被ばく線量です。